

年度末報告書（実行団体）

- 提出日：2023年 3月 31日
- 事業名：自然資源活用での地域生活を目指す方の独立支援事業
- 資金分配団体：地域の森林を守り育てる生業創出支援事業コンソーシアム（特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金、特定非営利活動法人自伐型林業推進協会、ランドブレイン株式会社）
- 実行団体：株式会社 ワイルドウインド

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
自伐型林業学校が定期的に開催する。	年に何回開催され、のべ何人が受講したか。	2カ月に1回、年間6回程度定期的に開催する。(5日コース3名×6回を目安に→年間のべ18名程度)	事業終了時点	2022年4月より集合研修ではなくOJTでの受入れに変更した為目標値が変わっている。2021年度は5日間の講習を2回開催し、参加者4名がそれぞれの現場で実働している。過去の講習修了者を見てみると、作業道で技術的に自立自走するにはまだまだ先は長く、集合研修の限界を感じている。各地方でも研修の環境が整備され個々の団体が独立して研修を開催するようになってきたため、八千代の森が中央機関として認識され大々的に研修を行うニーズが薄れてきている。	2

				そのため 2022 年 4 月より集合研修ではなく OJT による、より実践的で個別に対応可能な研修方法に切り替えた。 現在 5 名が定期的に通いながら共に現場を進めている。	
ミニ自伐型林業学校が定期的開催する。	年に何回開催され、のべ何人が受講したか。	月に 1 回、年間 12 回程度定期的開催する。(2 日コース 4 名、× 10 回を目安に→年間のべ 40 名程度)	事業終了時点	毎月 2~3 回定期的に開催出来ている。新野稲荷神社及び裏山の整備を通じて、刈払機、チェーンソー、バイオマス材の搬出、薪作り等の体験活動をしてもらっている。	2
自伐型林業学校開催時に講師候補者が指導経験を積む。	何名が年間に何日間講師経験を積んだか。	1 年間に作業道講習で 30 日、伐倒講習で 15 日を目標とする。	事業終了時点	OJT 方式への研修に伴い、研修生が現場へ来る日は全て指導経験となっている。個別対応のよりきめ細かい指導方法にチャレンジしている。	2
学校運営に必要な機材の確保をする。	十分な講習をするだけの資機材が整っているか。	毎回 3 名を受入れる為にバックホーを 3 台に増台。他の機械は必要に応じてメンテナンスと入れ替えを行う。初級講習用のヘルメット、防護具、チェーンソーを導入する。	バックホー 1 台、チェーンソー、ヘルメット、防護服は初年度。2 台目のバックホーは事業終了時点。	チェーンソー、ヘルメット、防護服を取得済。バックホーを 2022 年 3 月に納車済み。 OJT 方式の受入れに 2022 年度から変更したため、本事業枠組み外で取得予定の 3 台目バックホーは現在不要となっている。	2

講習用の山林現場をメニューに合わせて随時確保する。	初級から上級までに合わせた講習が出来る施業山林が常時確保出来ているかどうか。	山下の山主(約1500ha)、他吉野山主有志の会と連携して常時確保されている状態を作る。	現時点で確保出来ている。	確保出来ている。	2
安定して自伐型林業学校を開催できる活動拠点を確保する。	受講生が宿泊可能な施設が確保できているかどうか。トラックや重機等大型の資機材が保管出来る場所が確保されているかどうか。	民泊おいなりハウスで多人数(6人程度)の宿泊も可能となるように、座学教室としても使用できるように(8人程度)整備されている。	事業終了時点	おいなりハウスで、定員6人で宿泊可能となっている。座学会場も12名程度が利用できる状況となっている。資機材の保管場所も確保出来ている。	2
八千代の森メンバーが在籍する天川村で、自治体内の課をまたいだ協力が得られる関係を構築する。	村内で課をまたいだ協力が得られているか。	3年の退任後、双方の課から独立支援を受けられる体制づくりをする。	事業終了時点	天川村地域政策課とキャニオニングツアー等での連携について協議中。	2
村内の民間施設との協力共存関係を構築する。	村内の民間施設との共存関係は出来ているか？	てんかわ天和の里のキャニオニングツアーが継続して定着	事業終了時点	天和の里をベースにキャニオニングツアーを続けられるように協議中で、今シーズンツアー受付中(9月末まで)。ツアー後の天の川温泉への入浴	2

		し、その他の施設も巻き込んだ関係が出来ている。		提携も協議中。	
活動を発信できるウェブページを整備する。定期的に活動情報を発信する。	発信できる場が整備されているか。	ウェブページを整備する。 フェイスブック、インスタグラムで情報をアップしていく。	事業開始初年度	ウェブに自伐型林業学校と@おいなりさん（ミニ自伐学校）をアップして発信している。	2
全国からの相談が受けられる、ピンポイントでの情報発信が出来るネットワークを構築する。	ネットワークは作られているか。	自伐協、地域推進団体、各地の自治体とも連携して、新たな担い手の情報が共有できている。	事業終了時点	自伐協とは関係が出来ている。その他の団体は各団体で研修や相談等を実施するようになってきており連携しての全国からの相談の必要性が薄れてきている。	4
持続的な森林施業により収入を得る仕組みの構築する。	収入の流れと見通しが具体的に示されているか。	事業計画などを作成し具体的に収入がイメージ出来る様にする。	事業終了時点	2021年度、山主組織と協議し、2022年度、山主組織による集約化された山の、道づくり、搬出間伐の事業を請け負っている。2023年度からは森林経営計画による施業を開始する。	2
林業以外での複業で収入を得る仕組みの構築	アウトドア事業、藍等の活用による農業事業、特殊伐採や草刈等の山村維持事業の3本を当面の柱に	年間を通した林業を含む複業の組み合わせでの事業計画などを作成し収入のイメージを作る。	事業終了時点	特殊伐採の講習が中止になったため次年度に持ち越しになっている。アウトドア事業、電線整備の仕事などで収入を発生させられている。藍の栽培を進行中。	2

	<p>するべく、業として通じる技術知識の習得と、収入の流れと見通しが具体的に示されているか。</p>				
<p>吉野の山守として施業活動できる山林を継続的に確保する。</p>	<p>山林が継続的に確保できているかどうか。</p>	<p>地域おこし協力隊を退任してくる者の人数分が確保出来ている。</p>	<p>事業終了時点</p>	<p>山主組織や大和森林管理協会との間で順調に確保出来ている。2023年度より森林経営計画に基づいて1か所、施業を進めて行く。</p>	2
<p>県内各自治体と連携して、地域おこし協力隊制度を活用しながら新たな担い手育成活動が続いている。</p>	<p>地域おこし協力隊が継続して募集、着任出来ているか。</p>	<p>4村において、毎年半林半Xの地域おこし協力隊を2名程度採用している。</p>	<p>事業初年度から終了後</p>	<p>川上村に1名、天川村に1名2022年度より着任している。</p>	2
<p>副業的、ボランティア的に自伐型林業に関わる方が増え、収支を合わせにくい山への手入れも進める。</p>	<p>副業的に自伐型林業に関わる方が実際に山守と協働しているか。</p>	<p>5グループ程度が生まれている。</p>	<p>事業終了時点</p>	<p>@おいなりさん（ミニ自伐学校）のメンバーを増やす為の活動を秋から実施中。</p>	2
<p>八千代の森メンバーが主体的に活動</p>	<p>メンバーは主体的に活動し責任</p>	<p>メンバーそれぞれが担当の役割を持つ</p>	<p>事業終了時点</p>	<p>必要に応じて役割分担が出来つつある。</p>	2

する組織を構築する。	を持っているか。	て、何らかのリーダーとして責任を持っている。			
事業終了後 5 年を見据えた中長期の事業計画を作成し共有する。	長期的な収入計画を見据えているか。	長期事業計画を作成しメンバーで共有する。	事業終了時点	長期計画は口頭では共有しているが、新規案件が常に舞い込んでくるので計画は立てにくい。新規案件を取り込みながら常に短期から中期の計画を更新しながら進めている。	2
現役の講師が直接指導者候補生を指導する。技術や知識は勿論、すぐ側で過ごす事による想いの伝達にも重きを置く。	新たな指導者が育てているか。	作業道講師、2名、作業道準講師、2名 伐倒講師、2名、伐倒準講師、2名 合計4名が何らかの講師が出来る	事業終了時点	2022年4月よりOJT方式での研修がスタートしている。日々仕事を進める中で、指導者、指導者候補、自伐研修生の時間が出来ている。	2
居住する自治体以外での地域でも、林業や複業で収入を上げ、新たな担い手育成にも関わるメンバーが出る。	居住自治体以外の役場や地域おこし協力隊と関係協力して収入を上げている者が何人いるか？	5名程度が自治体を超えて活動している。	事業終了時点	2022年7月より2名が地域おこし協力隊を卒業し、独立して始動している。その2名は林業や複業で収入を得始めている。2023年4月卒業のメンバーの受入れも決まっている。	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.(任意) 活動に関する報告

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
2.広報制作物等 ウェブページにて自伐型林業学校の募集をを行っている。
3.報告書等
4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）





④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：整備分に関しては公開している。
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：規定類の変更は無い。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的に行われていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：顧問税理士に外部監査を依頼したが断られたため依頼先候補を検討中。